ドクターのための資産運用

実り豊かな人生を。“レオンコンフォートシリーズ”

レオン都市開発
LEON.U.D.

LEON COMFORT

Produced by
LEON URBAN DEVELOPMENT CO.,LTD.
LEON BLDG 7F, 1-6-18, Temmabashi, Kita-ku, Osaka-City. 530-0042, Japan
TEL.06-6356-2510 FAX.06-6356-2511
http://www.leon-urban.com E-mail:info@leon-urban.com

大阪医科大学 仁泉会ニュース

仁泉会ニュース 第 50 巻 第 6 号

発行所
〒569-8686 高槻市大学町 2-7

電話 072-682-6166
FAX 072-682-6636

発行者 安藤 嗣彦
発行部数 6,100 部

URL
http://www.jinsenkai.net

イルミネーションが
街を彩る季節です

目次

P3	祝・川崎医科大学教授ご就任！	梅垣英次（学 35 期）
	支部だより	
P4	京都仁泉会 音楽の夕べ	森本博子（学 24 期）
P5	同窓会（36 会）開催のお知らせ（第一報）	
P6	令和元年度仁泉会守口支部「むらさき会」報告	石田博文（学 24 期）田中 満（学 25 期）
P7	令和 1 年仁泉会東大阪支部総会と 6 月小旅行報告	三宅直子（学 28 期）
P8	仁泉会奈良県支部	松村典彦（学 34 期）
	クラス会だより	
P10	あかつき会（学 24 期）クラス会 in 淡路島 2019.9.21	森本博子（学 24 期）
P11	学 33 期（昭和 59 年卒）同窓会「アラウンド還暦 燦々会」	大森敦子（学 33 期）
P12	平成 11 年会	茨木利彦（学 48 期）
P13	東雲出張版	黒川四郎（医学部 3 年生）
	仁泉ひろば	
P14	バレット食道腺癌－消化器外科にて追加治療－	島田眞久（学 14 期）
P19	幻奇会 報告	小嶋昭次郎（学 29 期）
P20	第 13 回大阪医科大学バレーボール部 OB 会（六友会）報告	保田 浩（学 31 期）
	会員追悼	
P21	亡き辰巳敞朗君、加藤一博君に捧げる	川上勝朗（高医 18 期）
	事業報告	
P22	学生生活虎の巻 その七	
	若手の先生と学生の交流の場が設けられました！	
P27	冊子切抜　井尻慎一郎先生（学 31 期）	
P29	エッセイ 歴史を彩った女性達（19）	西村 保（学 4 期）
P31	まんが	京都ぽん太町（学 31 期）
	本部だより	
P33	会員訃報	
P34	編集後記	

祝・川崎医科大学教授ご就任！ 梅垣英次先生（学 35 期）

ご挨拶

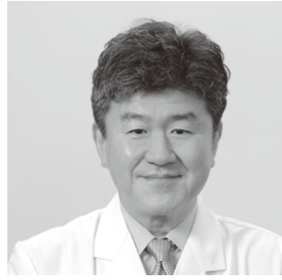
文責／梅垣英次（川崎医科大学 消化管内科学 特任教授
川崎医科大学附属病院　食道・胃腸内科部長
学 35 期）

このたび、2019 年 4 月 1 日付で川崎医科大学消化管内科学特任教授ならびに同附属病院食道・胃腸内科部長に就任いたしました。大阪医科大学在職中には公私にわたり、大阪医科大学および仁泉会の皆様方には大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。

私は1986 年に大阪医科大学を卒業後、同大学第二内科学教室（消化器内科：大柴三郎教授）に入局し、日々の臨床を行う傍ら一般臨床に還元できる研究を行うことをモットーに研究に携わってきました。基礎研究では消化管粘膜傷害の発生とその修復（消化管炎症）に関する研究を大きなテーマとして、さらに発癌もターゲットに *Helicobacter pylori* 感染と胃癌の関連性に関する研究も進めました。臨床面では、消化器疾患の診療とともに消化管全体の診断と治療を積極的に行ってきました。特に消化管悪性腫瘍（食道がん、胃がん、大腸がん）に対しては、患者様に負担の少ない体にやさしい内視鏡治療を開発、推進することに従事し、大阪医科大学に切開・剥離法による新しい内視鏡治療法を導入し、さらに近畿地区で医師主導型の近畿内視鏡治療研究会を設立しました。

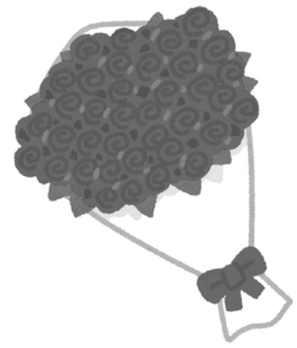
2014 年 4 月、神戸大学消化器内科に着任後はこれまで行ってきた活動を継続し、世界で一番レベルの高い日本の消化器内視鏡の診断能と治療手技を国内のみならず世界へ普及させるために、海外の内視鏡専門医の指導と育成にも関与しました。

この度、ご縁あって川崎医科大学に就任致しましたが、これまでの自分の経験を基に、これからも患者様の QOL 向上を目指して、消化器病学／消化器内視鏡学の臨床と基礎に携わりたいと考えます。大阪医科大学仁泉会の皆様方には、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



梅垣英次先生 ご経歴

1986 年　3 月	大阪医科大学卒業
1986 年　6 月	大阪医科大学附属病院にて臨床研修
1988 年　6 月	大阪医科大学専攻医（第二内科学教室）
1993 年 12 月	医学博士の学位授与（大阪医科大学） プロスタグランディンの胃サイトプロテクション作用に関する実験的研究
1996 年　4 月	大阪医科大学助手
2000 年　2 月	大阪医科大学講師
2005 年　11月	大阪医科大学消化器内視鏡センター長 併任
2009 年　4 月	大阪医科大学准教授
2014 年　4 月	神戸大学大学院医学研究科 消化器内科 特務教授
2015 年　4 月	神戸大学大学院医学研究科 消化器内科　特命教授
2019 年　4 月	川崎医科大学消化管内科学　特任教授 川崎医科大学附属病院 食道･胃腸内科部長 神戸大学客員教授



支部だより●●••

京都仁泉会 音楽の夕べ

文責／森本博子（学 24 期）

8 月 25 日、8 月の最終日曜日、京都仁泉会恒例の夏の音楽の夕べが京都ホテルオークラで開かれました。京大経済学部在学中にピアノの弾き語り歌手としてデビューし、その後、多彩な歌唱法を駆使してジャズ、カントリー、ラテン、ポップス、と幅広いジャンルで注目されていて、また、関西のラジオ番組（毎日放送、朝日放送）でのパーソナリティとしても活躍されている加藤ヒロユキ氏をお迎えしてのコンサートでした。

さっそうと登場された加藤氏はいきなり「アメイジンググレイス」を歌い始められました。一曲歌い終えられると、ご自身のお父様のお話を始められました。昨年、お父様に捧げる本を上梓されたそうで、京大法学部卒業後、マスコミ関係からアパレルの業界に転身、さらに興行の世界に手を広げられたそうです。そして一念発起し受験勉強を始め医学部に入学し、68 歳で医者になられたのも束の間、数年後に肺がんとわかり余命半年と宣告されたそうです。しかし落胆することなく、独自の免疫力を高める生活を送りがんを克服されたというのです。そして 79 歳で逝去されたという話をされました。

巧みなお話でコンサートなのか講演会なのか、と思いましたが、その後は歌の解説をはさみながら 7 曲を情感たっぷりに聴かせていただきました。アンコールは東北大震災のチャリティソングの「花は咲く」を熱唱され余韻をのこしながらコンサートは終わりました。

集合写真を撮った後は懇親会です。乾杯の発声は母校小児科学教室の教授に就任された芦田明先生にお願いいたしました。今年は初めて大阪薬科大学同窓会京都支部にお声かけし、中嶋一郎会長、八田恭一先生、半井達弥先生が参加してくださいました。最初は緊張されていたようですが、すぐに打ち解けられ楽しんでおられました。アルコールも進み、各テーブルでは笑声がたえませんでした。

ここ何年か富岡先生のお世話でコンサートが開かれてきました。毎年趣向の違う演出で楽しいひと時を過ごしてきました。富岡先生のご尽力にこころから感謝しつつ、来年の再会を期しお開きとなりました。

曲目
＊アメイジンググレイス
＊青葉城恋唄
＊ゴッドファーザー 愛のテーマ
＊テネシーワルツ
＊ボラーレ
＊月の砂漠
＊ユー・レイズ・ミー・アップ

参加者
町塚 昭（学 8 期）・ご家族
内田 実（学 12 期）・ご家族、太田 稔（学 12 期）
上原従正（学 14 期）大澤 直（学 14 期）
島田眞久（学 14 期）・ご家族、岡田豊子（学 21 期）
大藪 博（学 22 期）・ご家族、富岡 曄（学 22 期）
梶野興三（学23期）・ご家族、竹中 洋（学23期）・ご家族
森本博子（学 24 期）浅田修二（学 25 期）
松本恒司（学26期）・ご家族、水谷 均（学26期）・ご家族
蘆田 潔（学28期）芦田 明（学 37 期）・ご家族
柏木元実（学 39 期）
大阪薬科大学同窓会京都支部
中嶋一郎、八田恭一、半井達弥

同窓会（36 会）開催のお知らせ（第一報）

総会開催日：令和 2 年 5 月 16 日（土）
集合場所：京都ホテルオークラ 1 階ロビー 午後 5:00 予定
会場：京都ホテルオークラ別邸「栗田山荘」

翌日 17 日（日）
ゴルフ組：ジャパンエースゴルフ倶楽部
観光組：京都迎賓館見学（京都御所内）

詳細は、第二報（来年 1～2 月ごろの予定）でお知らせします。

世話役　大澤、島田、杉之下

支部だより●●••

令和元年度仁泉会守口支部「むらさき会」報告

文責／会長 石田博文（学 24 期）
副会長 田中 満（学 25 期）

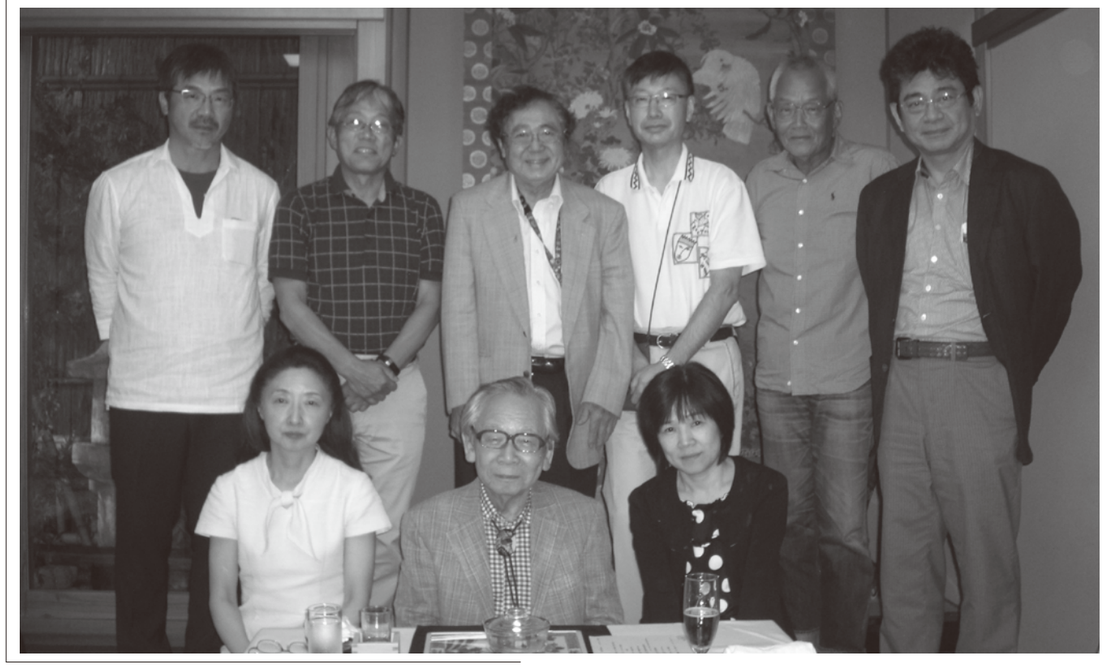
7 月20日 (土) に台風の影響で曇天模様で湿気強かったのですが幸い雨は降らず定例の北新地割烹「悦」にて 9 名出席のもと守口市仁泉会支部「むらさき会」を開催いたしました。
型の如く会計報告を行い、以下の事案を了承していただきました。

・会費徴収は討議の末今年度も据え置き。
・これまでの会長・副会長は今年度末で終わり、令和2年4月より会長は水野智志先生(学34期)、副会長は吉良貞政先生（学37期）に交代。
・7月1日より医師会Ａ会員になられた戸田千綾先生（学40期）が入会。
・入院されていた先生に病気見舞い金給付。

その後は、むらさき会の由来、保険審査、大学同門会、会長選、慢性膵炎、最後はいつものゴルフ談義などの話題で大いに盛り上がり、有意義な時間をすごしました。

次回は令和２年７月第１または第２土曜日を予定していますので、ご多忙とは存じますが多数出席くださるようお願い致します。

参加者（敬称略）
太田元治（学４期）中村泰清（学 16 期）
石田博文（学 24 期）田中 満（学 25 期）
水野智志（学 34 期）吉良貞政（学 37 期）
中村佳預子（学 39 期）辻 竜平（学 40 期）
戸田千綾（学 40 期）



令和元年 11 月 1 日発行　大阪医科大学仁泉会ニュース　第 50 巻 第 6 号

支部だより●●••

令和１年仁泉会東大阪支部総会と６月小旅行報告

文責／三宅直子（学 28 期）

今年の仁泉会東大阪支部恒例の支部総会と夏の小旅行は６月９日（日曜日）リッツカールトン京都にあるレストラン、ラ・ロカンダで開催されました。いつも老舗の和食でしたが、今回は趣向を変えてイタリアンでした。

いつものメンバーが集まり午後１時から例会が始まりました。仁泉会理事長だった河野公一先生も今回も出席くださいました。河野先生は理事長として仁泉会の地方活性化や発展にご尽力を尽くされましたが、今年退官されました。まず支部長の大西洋一郎先生の話で、仁泉会八尾支部の辰巳昭央先生から東大阪支部と八尾支部の合同懇親会の話があるとのことでした。早速案内が来て、9 月28日土曜日に布施の料亭「若葉」にて開催されますが、この報告書が皆様に読まれている今はもう終わっていますね。すみません。

乾杯の発声の後楽しい歓談が始まりました。この会合の数日前、私の診療所に杉原正章先生(学５期)がひょっこり来られ、今老老介護で奥様のお世話をしているが、元気にしていますと皆様にお伝えくださいとのことでした。ここで報告させていただきます。河野先生は教授時代から長きにわたり忙しくしていましたが、やっとゆっくりさせていただきます、とのことでした。大学も創立100年に向けて建て替えが行われることとか、三島救命センターの話とか、たくさんの話題で、和やかにすすんでいきました。佐藤公彦先生もお元気で楽しいおしゃべりは健在でした。お料理も美味しくて、また、お土産にあのとっても美味しいリッツカールトンのマカロンまであり幸せでした。

こうやって毎年皆様にお会いできるのは楽しみです。今回出席できなかった皆様も、来年是非ご出席ください。

出席者（敬称略）
河野公一（学 21 期）佐藤公彦（学 12 期）
金城武忠（学 16 期）恒川恵治（学 17 期）ご夫人
塩路清一（学 20 期）大西洋一郎（学 25 期）
大西敦子（学 40 期）三宅直子（学 28 期）
三宅裕治　（学 28 期）家族

支部だより●●••

仁泉会奈良県支部

文責／松村典彦（仁泉会奈良県支部 庶務担当・学 34 期）

令和元年8月4日(日)に第47回仁泉会奈良県支部総会を猿沢池畔の「飛鳥荘」で開催しました。

今年度、執行部役員が交代となりました。新支部長には中尾重昭先生（学22期)、副支部長には久保史生先生(学20期)と山田眞一先生(学22期)のお二人の先生方に決まりました。また、従来、2月に役員会を、8月に総会を開催しておりましたが、8月上旬は暑さ厳しく、来年は東京五輪も開催されること、家族旅行等で休暇をお取りの先生方が比較的多いこと、会計年度の都合…等の理由で来年度から総会・役員会を 2 月頃に開催することになりました。

さて、総会では、同じ庶務担当の山下正人先生(学31期）の司会進行のもと、物故者への黙祷に続いて中尾新支部長の御挨拶の後、このたび新しく仁泉会理事長に御就任されました安藤嗣彦先生（学20期）が来寧され、母校や仁泉会の現状、新理事長としての抱負などのお話を頂きました。2021年4月には大学名が大阪医科薬科大学となりますが、今後さらに飛躍発展することを期待しております。また、御来賓として大阪薬科大学同窓会 奈良県支部長の小原喜博先生に御出席賜わり、挨拶して頂きました。大阪薬科大学は、1904年に大阪市道修町にその前身の大阪道修薬学校が設立されて以来、今年で創立115年となり、現在、奈良県内に会員が1,000名前後おられるということをお聞きしました。その後、長寿の祝い（高14期飯岡諒一先生が満 100 歳百寿、高 20 期米田正國先生が満 90 歳卒寿)、ゴルフ部の活動報告、6 年振りの会員名簿改訂…等、報告がありました。今回、新たに学 35 期久徳茂雄先生（市立奈良病院 再建形成外科)、学 55 期小川 拓先生（奈良県立医科大学付属病院 感染症センター)、学56期中野知哉先生（大和高田市立病院 循環器内科）の 3 名の先生方の入会がありました。

最後列左から　宮崎眞和（学 43 期）森岡淳夫（学 32 期）阿部洋介（学 48 期）森本 守（学 42 期）辻本達寛（学 42 期）
橋本恵介（学 42 期）尾崎誠重（学 43 期）
３列目左から　桶田正成（学 34 期）山下正人（学 31 期）中野知哉（学 56 期）宮崎貞恵（学 43 期）
鎌田勝三郎（学 41 期）錦織直人（学 50 期）石﨑英介（学 45 期）久徳茂雄（学 35 期）鉄村信治（学 44 期）
２列目左から　小川 拓（学 55 期）山本保範（学 27 期）久保光彦（学 24 期）花本樹芳（学 23 期）山田全啓（学 30 期）
河原邦彦（学 45 期）古家美幸（学 45 期）辻口比登美（学 33 期）松村典彦（学 34 期）
前列左から　枡岡 進（学 8 期）北浦 泰（学 15 期）小原喜博（来賓 大阪薬科大学同窓会奈良県支部長）
安藤嗣彦（新理事長 学 20 期）後山尚久（招聘講師 学 28 期）小延知暉（学 1 期）中尾重昭（学 22 期）
久保史生（学 20 期）山田眞一（学 22 期）西浦孝彦（学 13 期）　（敬称略）

総会議事のあと、恒例の特別講演の部に移り、大阪医科大学健康科学クリニック教授の後山尚久先生（学28期）に「実地医家に役立つ婦人科疾患への対応―とくに更年期症状と漢方薬について」というタイトルでご講演頂きました。不定愁訴を訴える更年期女性患者さんに対してホルモン補充療法はもとより“腹診”を用いての漢方薬処方、傾聴・共感など心理的アプローチを駆使して患者に寄り添う治療を実践しておられる後山先生の診療姿勢に大変感銘を受けました。大切なのは医師が処方するお薬ではなくて、「医師」というお薬（医師そのものがお薬）が効力を発揮するのだということを強調しておられました。

懇親会の冒頭、後山先生にアカペラでナポリ民謡「サンタ･ルチア」を熱唱して頂きました。グリークラブ内で“アイアンボイス”と称されておられたそうですが一同、その声量に圧倒されつつも感動致しました。

今回、37名もの先生方の出席を得ました。同窓生が息災で日々の診療に励んでいらっしゃることを耳にして嬉しく思いながら帰路につきました。

なお、講演内容のスライド（70枚）を後山先生の許可を頂きアップさせて頂きました。お手持ちのスマートフォンを用いて下記の QR コードから読み取ることができます。時間がございましたらどうぞ御覧になって下さい。後山先生の歌っておられる写真も 2 枚アップしております。

ご投稿のお願い

会員相互および母校とのコミュニケーションや情報交換の場として「仁泉会ニュース」を引き続き利用していただきたいと思っています。会員の先生方より本誌に対する忌憚のないご意見をいただき、同窓会の活動をさらに充実させていきたいと考えています。

下記の要領にて、多くの会員皆様からの投稿をお願いします。

- ●支部会、クラス会、趣味の集会などの案内や報告
- ●「仁泉ひろば」のコーナー
- ●研究論文の要約（以前に他誌に投稿された内容でも結構です）
- ●随想、紀行、写真、絵画、俳句、短歌、川柳などの趣味や特技
- ●紹介したい店、場所、物など
- ●本誌に取り上げて欲しい話題

字数には制限は設けません。葉書 1 枚、便箋 1 枚でも結構です。

- ●広告に関して

会員自身が出される広告は現在 100 字程度までは無料です。内容は、人材募集、開業場所の紹介、医院承継、ブライダル、趣味の発表会の案内などです。詳細については事務局までお問い合わせ下さい。

（内容により有料の場合があります）

事務局編集係

クラス会だより

あかつき会（学 24 期）クラス会 in 淡路島 2019.9.21

文責／森本博子（学 24 期）

高知でのクラス会から２年が経ちました。今回は神戸が担当で淡路島、ホテルニューアワジ「ヴィラ楽園」で開催されました。台風17号が接近する中、関東から二名、北陸から二名、四国からは二名、など遠方からの参加がありましたが、やはり少し遠いと参加をあきらめた方もありました。それでも26名が集まりました。

各自、車、電車、バス等それぞれの手段で到着した後、ホテル自慢の大浴場で一風呂浴びてさっぱりして、午後７時から宴会が始まりました。

北先生の開会宣言の後、大鶴先生の司会でまずこの２年間に鬼籍に入られた豊田宣夫先生、宮崎総一郎先生、安田 勤先生、中倉博延先生の思い出が語られた後、黙祷を捧げました。森本の会計報告、石田先生の開会の辞、三村先生の乾杯の発声で宴は始まりました。

食事が次々と運ばれ、アルコールも進んだ頃文先生の紹介で各自の近況報告がされました。現役並みに仕事をしている人、仕事をセーブしている人、一線を退いている人、様々でした。目を細めて孫の成長を語る人もありました。やはり歳をとってきたということもあり、体調不良の報告、病気の話も多かったです。

最後は飯塚先生の中締めの挨拶でした。次回の開催地について、参加者の意向からできるだけ近場が良いという希望で、京都となりました。2年後の2021年です。その次は未定ですが 2025年は大阪万博が開催されるのに合わせて大阪と決まりました。

翌日は台風の影響で時々雨が降るあいにくの天候でした。観光グループは13名でバスに乗って、まず鳴門の渦潮見物。ホテルを出発するときは台風の接近で乗船は無理という話でしたが、現地に到着すると波は穏やかで風も強くなく、せっかくここまできたのだからと急遽予定を変更して船に乗ることになりました。正味20分ほどの乗船時間で、右や左に次々と発生する渦潮をあっちだ！こっちだ！と叫んでいるあいだに終わりましたので誰も船酔いすることもなく無事桟橋まで戻りました。そこからランチの為アナガホテルに向かいました。こじんまりとした洒落たホテルでした。朝ご飯を食べたばかりと言いながら、おいしかったので皆さん、ランチコースをほぼ完食でした。

ゴルフグループは 6 名の参加で淡路カントリー倶楽部でプレーを楽しみましたが、途中雨にあって切り上げたそうです。その分ゆっくりクラブハウスで話ができたようです。

幹事代表の北先生をはじめ、大鶴先生、小西先生、文先生、三村先生の幹事の先生方には大変お世話になりました。感謝申し上げます。

後列左から山口、北、小西、濱田、芥川、大鶴、柿本、淀井、森本、喜多、岡田、才田、石田、今城、疋田
前列左から森本、飯塚、文、市原、三村、鈴村、北村、久保、井口、橘田、蒲原　（敬称略）

クラス会だより

学 33 期（昭和 59 年卒）同窓会「アラウンド還暦 燦々会」

文責／大森敦子（学 33 期）

令和元年９月７日（土）、学33期の同窓会を開催致しました。卒後35年、現役生が還暦を迎える年という事で、「アラウンド還暦 燦々会」と銘打って、京都駅前のホテル　ザ・サウザンド京都にて 行いました。

ご連絡できた方114名、お返事を頂けた方106名で、58名のご参加を頂き、本拠地大阪ではないにもかかわらず、たくさんの方に京都まで来て頂き、幹事一同心より感謝しております。

まず初めに、少し遅くなりましたが国立大学法人　兵庫教育大学大学院の教授になられた野田哲朗先生のお祝いを致しました。その後は、何といっても懐かしい皆さんとおしゃべりしたい！ 近況を知りたい！ という事で、特別なスライドショー等はせずに、旧姓名簿順、 つまりポリクリ班に近い感じで着席のテーブルごとに前に出て、各自１分ずつの近況報告をして頂きました。バリバリ仕事をしておられる方、仕事もしながら趣味を極めている方、ご家族の事など、多彩な近況報告に耳を傾けつつ、空き時間には話したい人を捕まえて、ひたすら話す…という楽しい時間を過ごしました。

「まだ話し足りないから、申し込んでなかったけどやっぱり二次会に参加したい！」という方もおられ、二次会も大いに盛り上がりました。

同窓会では「おしゃべりがご馳走」と思ってはおりましたが、ザ・サウザンド京都は京都駅前のセンチュリーホテルに隣接して本年１月にオープンしたホテルで、建物もきれい、お食事、飲み物もとても美味しかったと皆さんに満足して頂けました。二次会も内部でつながっているセンチュリーホテル内のメインバーで行い、便利で好評を得ました。

学会などで参加できなくて残念！との欠席者のお声もあり、その方たちにも見て頂けるように、またもちろん参加した方も楽しめるように、アラウンド還暦燦々会のドロップボックスを作り、当日お互いにスマホで撮った写真をアップロード、ダウンロードして頂けるように致しました。同窓会が済んでしばらく経ちましたが、今もアップロード、ダウンロードが続いており、皆さん懐かしかった日の余韻を楽しんで頂けているかと喜んでおります。

次回は５年後、本拠地大阪で、仁泉会でもご活躍の御前先生に幹事をお願いして同窓会の予定です。

元気に再会できますように、体調を維持し、その日を楽しみに仕事も頑張りたいと思います。皆さんとの再会を楽しみにしています。

幹事:安住裕子、河田　了、北川　靖、桑田克也、酒井泰彦、大森敦子

前列左から　上野信之、福田弥一郎、大森敦子、奥田準二、浮村 聡、河田 了、平松昌子、酒井泰彦、前田 環
高田洋子、安住裕子、高田 興
２列目左から 田伏順三、西野雅巳、寺崎充洋、多根一之、宇田るみ子、田中啓子、大松由希子
井上澄江、室谷益代、辻口比登美、島 正彦
３列目左から 小畑仁司、山田圭一、田中英夫、大野正博、野田哲朗、神戸尚史、阪口正博、雨森正洋、御前 治
片岡伸彦
４列目左から 衣斐義高、大山恭夫、黒川正人、岡 博史、孫田虎鉄、濱本 浩、清木康雄、井上裕之、鈴木武彦
５列目左から 下 裕司、金原稔幸、進藤嘉一、辻口幸之助、塩見勝彦、加藤宗寛、　村田真二、宮本信一
６列目左から 桑田克也、川島文雄、中村　宏、服部元史、田中俊典　（敬称略）

クラス会だより

平成11年会

文責／茨木利彦（学 48 期）

今回令和元年の９月７日に２回目の同窓会を開くことが出来ました。第１回は約 20 年ぶりだったのでみんなだいぶ変わっていましたが、今回は前回から２年の経過で、参加者は 40 名でした。

みんなで盛り上がれる企画を考えていたのですが、そんな事をしなくても各々で盛り上がっており同級生っていいなあと感じました。学生時代に同じ時間を共有し、今ではそれぞれが一線で活躍し、でも同じような事で悩んだりして。

次は５年後開催の予定ですので皆さん健康に気をつけてお過ごしください。誰か教授になってて欲しいなあ。写真を HP（https://oosakaikadaigaku.jimdo.com/）に UP してますので見てください。

東雲 出張版

※「東雲」は文芸部の部誌のタイトルです。

ネトウヨとパヨク

著者／物江 潤

ウェブ上で反日的と見なしたものを攻撃するネトウヨと呼ばれる人々や、外交問題を無条件で日本の責任とするパヨクと呼ばれる人々はインターネットの黎明期から存在していましたが、SNS の普及に伴い、彼らの言動は一般市民の目にも広く触れるようになっています。

著者である物江 潤さんは塾講師を務める中で、ウェブ上の偏向した情報の影響を受けて人種差別的な意識を持った生徒を目にして驚きます。その上で筆者は「ネット環境を与えなければよい」といった短絡的な主張を退け、子供がスマホを持たざるを得ない現代社会の実情を前提として教え子を守る方法を考察します。

情報化社会に向けた教育改革が進む一方、日本の教科書は中立性の名のもとにネトウヨやパヨクと呼ばれる人々の存在を黙殺しています。現実から目を背けては何も解決しない以上、今の時代に必要なのは建前を並び立てる本ではなく、社会問題を直視して具体的な解決策を提案する本でしょう。

医学部３年生　黒川四郎

仁泉ひろば

jinsen-park

バレット食道腺癌
ー消化器外科にて追加治療 ー

文責／島田眞久（学 14 期）

6 月 15 日（土）曇り。家内と一般・消化器外科外来の李先生 に受診する。追加治療は、腹腔鏡手術で、食道下端から胃上部を切除後、食道－胃直接吻合と小弯測上部と縦隔下部リンパ節郭清術で来週 6 月 20 日（木）入院で翌日手術、入院期間は 2 週間と決定。また、入院までにリハビリ科と歯科を受診するように言われたが、現在、近くの歯科で歯垢の除去と虫歯の治療が丁度終わって、歯茎の引き締めの治療をしているとこ ろである旨を言うと歯科の受診は免除してもらえた。どう やら、今回の手術は横隔膜から胸郭部にメスを入れるので口腔ケアをしておくことにより、肺炎球菌による肺炎になる危険を予防するためらしい。

6 月 17 日（月）晴れ。リハビリ科の佐浦教授の外来に受診する。肺活量の測定と呼気を出し切る練習をスーフルを用いて練習するよう言われる。どうやら今回の手術後の入院期間は、この呼吸リハが上手くいくかどうかにも懸かっているようである。

6 月 20 日（木）晴れ。中央手術棟 5 階（C5 病棟）に入院。午前中に、下肢静脈エコー検査と食道の造影 CT の後、前回、腰部脊柱管狭窄術の時にもお世話になった麻酔科の南教授から、明日の手術は、全身麻酔に加えて、術後の疹痛コントロールのため硬膜外麻酔の処置を行いますとの説明を受ける。午後からは、1）何故今回の手術が必要であるのか、2）どのような手術を行なうか、また、3）手術に伴う合併症（出血、後出血、縫合不全、膵炎、肺炎、腸閉塞、心、脳、肺梗塞、逆流性食道炎、吻合部狭窄など）の詳細で丁寧な説明を主治医の李先生より、家内と同席で聞く。病巣は前回の内視鏡の除去術で完全に切除されてはいるが、なお、リンパ節への転移の確率は、病理標本で未分化型が見つかったのに加え、病巣の垂直方向の深部到達部が脈管層まで僅か 50μm しか無かったことから、10% ぐらいであるので追加治療を外科としてもお勧めしますとの説明を受ける。その後、消化器外科の内山教授の訪問を受ける。夕食は、粥菜食 698Kcal（塩分 1.8g）、アルジネードウォーター 2 本（栄養機能食品－亜鉛・銅・アルギニン配合、塩分 0）。明朝 6 時までに、更に、2 本飲むように指示される。このドリンクの登場により、術前の点滴が大幅に削減されたとのことである。夜に、今回の入院から退院までのタイムスケジュールの説明が看護師よりあった。順調に行けば、術後一晩 ICU に泊まり、翌日（土曜日）には、病棟に帰り、その翌日より流動食が始まり、術後の 7 日目で全粥になるとのこと。術後の 9 日目で希望により普通食に復帰可能となる。これで行けば 10 日目（7 月 1 日）で完全復帰となり退院の可能性が出てくることになるが、はたして…。

6 月 21 日（金）晴れ。手術当日。5:30 アルジネードウォーター 2 本飲み、洗面。昨日、南教授より、肺炎防止のための 口腔ケアとして、はみがきを念入りにしておいて下さいと言われたので、歯科受診中に指摘されていた M2 と M3 の間にある狭い隙間に歯間ブラシを使用する。朝 7:00 採血、体温、血圧の測定あり。昨日渡された下肢静脈血栓予防のための弾性ストッキングを着装し、気持ちもグット引き締まる。

6 月 22 日（土）曇り。術後 1 日目。手術は 4 時間ほどで終わったと家族より聞く。昨夜は、持病の入眠時振戦が出現し、殆ど眠れなかった。早朝、ICU 室で内山教授の診察を受け、続けて主治医の李先生の訪問があり万事上手く手術は終了し、経過も良好ですとのこと。今回はリンパ節の郭清が主目的であり、腹腔動脈、左胃動脈沿いのリンパ節、胃穹窿部（胃底部）のリンパ節と食道下部縦隔のリンパ節を除去、胃は 1/5 程度摘出、食道下端を数センチ切除し胃と吻合したとのこと。肉眼では、リンパ節の肥大は無く、一週間後に郭清したリンパ節の病理診断の結果が出ますと言われる。午前中に ICU から病室にもどり、午後に、リハビリ士が来る。下肢筋力のストレッチ訓練後、歩行訓練で廊下を 2 周する。少し息切れしたが $Sp0_2$ は 97% で安心したが、脈拍が 100 を超えていた。実は病室に移動後、リハビリ士が来る前に看護師の付き添いで、廊下を 2 周し、更に単独で一周し、見舞いに来た家族を送って行ったので更に一周計 6 周したことになる。夜に眠れない恐れがあったので、ブロチゾラムを 1 錠もらう。

6 月 23 日（日）曇り。眠剤のおかげぐっすりと眠れ、昨日、ICU 室で悩まされた入眠時振戦は完全に消失していた。起き上がろうとすると頭がフラついて足元に力が入らずベッド横に倒れる。血圧を測ってもらうとなんと 80/50mmHg しかない。どうやら硬膜外麻酔のせいのようである。気をつけねば。午前中、胃食道グループの本田先生以下、今井、田中（亮）、園村、桶本各 Dr の訪問があり、この事をいうと、硬膜外麻酔の管を抜いて くれた。暫くすると、それまで微弱であった脈がしっかり触れるようになって、血圧は、124/89mmHg に回復すると共に、室内温度も暑く感じるようになった。ただし腹痛も少し出てきたが自制内である。息子夫婦が子供を二人連れて見舞いにやってきた頃には、腹が痛くなりロキソプロフェンの点滴とアルジネードウォーターを飲んだ時吐き気がしたのでプリンペランの点滴を追加してもらう。熱は 37.8℃まで上がり気分が悪くなる。午後、リハビリ士がやってきて下肢筋力訓練の後、廊下を 2 周した。3 年前に脊柱管狭窄手術の時に世話になったリハビリ士であったので話が盛り上がった。夕方、主治医の李先生が愛媛より戻り診察にくる。今日が術後で一番辛い時だそうだ。その通り。明日から食事再開との事であるが、今のところ食欲はない。夜に、氷枕をお願いする。

6 月 24 日（月）曇り後晴れ。朝に、リハ科の佐浦教授と李主治医の訪問があり、今日からおもゆの開始と腹部のドレーンと導尿の管を抜きますと言われる。熱は手術時の出血による吸収熱とのこと。おもゆとヨーグルトは一気に飲み廊下を単独で 2 周回る。調子は良い。血圧は、160/ 90mmHg であったので持参の降圧剤をのむ。体温は、36.5℃。本 日より、タケキャップ 20mg 1 錠とコカール 200mg 2 錠を服用開始。本日術後 3 日目の血液データは、絶食しているので TP 5.7、ALB 3.0、と低くなっており CRP は、5.85、白血球は、6490 と意外に低かった。夕方、胸部と腹部の X 線検査後、内山教授以下胃食道グループの総回診があり順調に回復していますとの説明を受ける。

6 月 25 日（火）晴れ。術後 4 日目、まだ便が出ない。お腹にガスがたまっているようだ。従って食欲もない。昨夜、カマグ 1.0g ほどの下剤を頼んだがもう少し様子を見てからとのこと。朝に主治医の訪問あり、ガスが溜まっているのでスポーツドリンクをどんどん飲んでくださいと言われる。朝食は、五分粥で、豆腐と人参を刻んだ副食に、野菜入りの味噌汁で、前回のように減塩食でないので食べやすかったので完食すると、点滴は本日で終了。BD 149/96mmHg。付けていた管は全て無くなったのでシャワーを浴びる。午後、ラキソ 15 滴分を服用。夕刻まだ便が出ないので、酸化マグネシウム 250mg を 3 錠服用し、病院の外回りを一周歩いて、明日を待つ。早足で歩いていても腹の痛みはほとんど無かった。腹腔鏡手術は本当に素晴らしい。外科処置は以上で終了であるがガスは出るがお腹が張って鬱陶しい。夜中、上腹部がガスで張って苦しいので腹臥位で寝ると夜中にガスが多量に出た。ついでに便も出るかと期待したが出ず。

6 月 26 日（水）晴れ後曇り。早朝、外を散歩するべく出かけたが、救急の出入り口でガードマンに止められる。外は、7 時からだそうだ。仕方なく病院内を徘徊して病室にもどり、酸化マグネシウムを 1.0g 一気に飲む。腹は、時折ゴロゴロ鳴るが便は出ない。出るガスに勢いが出だし、りきむ事も出来るようになる。5 日間もの便秘は初めての体験である。BD 158/81mmHg。体温 36.7℃。午前中に、胸腹部の単純撮影に X 線科に歩いていく。午後、老健こもれびに手伝ってもらっている同級生の上

原先生と福永先生が陣中見舞にやってきた。二人とも外科医なので私の体をネタに話が弾んだ。夕方、家内が高かったが美味しいと言う豆腐と蜂蜜漬けのうめぼしを差し入れにきた。豆腐にネギとかつお節を付けて食べると美味いとの事であったが、同席していた栄養士が、醤油はよろしいが、ネギとかつお節は不可と言われる。便秘が続いているので便秘に効く食事をお願いしますと言うと、今は、繊維性の食材は出ていません、もう少し後になりますとの返事。夕食に、豆腐も食べたので胸がつかえるようになり、過食気味で少し苦しんだ。反省せねば。夜に、プルセニド 2 錠と酸化マグネシウム 250mg 3 錠を服用し明日に期待をかける。夜中にうつ伏せに寝るとお腹が少し痛くなってガスが結構出るようになったが排便なし。

6 月27日（木）曇り。まだ便が出ない。カマグ 750mg を服用。世の中は明日から大阪で始まる G20 に向かって小中学校が休校とか、駅のゴミ箱が使えない、交通規制が厳しくなり配送業に影響が出るなど関心が集まっているが、私の関心事はもっぱら G20（グリ浣 20cc）をするか G40（グリ浣 40）すべきかにある。昔は直ぐに何かと浣腸が頻繁に行われていたが最近は種々の下剤も開発されたせいか殆んど使われないと言う。早朝、手術棟の階段 1 ～ 5 階の制覇と西の廊下の病棟の 1 ～ 6 階の制覇を行った。思った以上に息は上がらなかった。Dr に、今度はラキソベロンを30滴（前回は 15 滴で空振り）ぐらいマックス量でお願いする。それでダメなら、大腸検査につかうマンコロールをお願いした。朝 9:00 ごろ少し便意があったので一応座ると小指大の薄黄色と茶色の混じった待望の便が静かに出てきた。術後丁度一週間目のことである。これでやれやれ。後続部隊を後は待つだけである。BD l26/81mmHg、体温 36.7℃。夕方、こもれびの田中事務長と上林課長が見舞いに来る。私の元気な姿を見て安心して帰る。この後、ラキソの代わりに最近発売された大腸検査時に使用する液状のマンコロール 100ml を胃食道グループの先生方から処方してもらって服用したところ、数時間後から泥状便が出だした。

6 月28 日（金）曇り時々晴れ。朝一番に泥状便が早速出る。腹も凹み快調である。李先生が訪室、郭清したリンパ節には転移巣は無かったとの速報で一安心する。やれやれである。摘出した臓器の連続切片全体の組織像がわかるのは 1 ヶ月後だそうだ。来週月曜には退院できませんかと言うと、来週には可能ですが余り急がないことです。夜に食べるのは就寝の 3 時間前までにお願いしますとの事。つまり、これからは、退院後の食生活のあり方に向けてのトレーニングが必要になる。岡島先生の時代は、胃の摘出術は一ヶ月の入院が必要でしたとのこと。朝、麻酔科の南教授が訪室されたので、ICU から病棟に戻った時は、廊下を 5 周ほどできたのに、翌日、起床時立ち上がるときに崩れ落ちて足に全く力が入らず立てなかった理由について伺うと、手術中の硬膜外麻酔は全身麻酔をしているので濃度を薄くしているそうだ。病棟に帰った時は病棟の方針に従い濃度が少し濃くなったのではないかと思うとの説明で納得する。午後、老健こもれびを経営している医療法人大澤会の大澤理事長がダンディーな服装で奥さんと見舞いにやってきた。慣れていたと思っていた病院内で迷って、病室にたどり着くのに 30 分もかかったそうである。ご夫妻が帰られた後、ドトールで久しぶりのコーヒーを飲みに行く。病院食ばかりの後なのでお菓子のラスクも食べ大変美味かった。帰室するとリハビリ士が訪室。トレーニング前の測定で、BD l21/84mmHg と理想的な血圧になってきた。夜に内山教授以下の回診があり、李先生の話では退院は来週火曜か水曜日頃になるとの事。なお、噴門部の切除時、両側の迷走神経も切っているので、胃の内容積は殆んど変わっていないが、一度に食いすぎないように、少しずつ良く噛んで時間をかけて食事をする必要があるとの指導を受ける。

6月29日（土）曇り。今まで、入院用の薄い踵のついたスリッパで病院内を歩き回ったせいで左足の親指の付け根が少し腫れて痛くなり、

昨夜、ロキソニン 60mg 1 錠を頼んで服用したので少し楽になっていた。ローカ歩行や階段の昇降時は下がコンクリートで硬いので関節への衝撃が強すぎるためこれからは靴を履こうと反省する。朝に家内が洗濯物を持ってくる。昨日は、G20 のオプションで各国の奥様方たちが東福寺に来られたようで観光バスが詰めかけ警備が大変だったようである。人力車も沢山集めて載せている状況が朝のニュースでもやっていた。全粥の食事は続いているが、4 日前に差し入れてくれた梅干しと振りかけを使っているので、味の薄さは気にならない（全粥食で塩分 1.0 ～ 2.1 g）。蜂蜜漬けの梅干しを毎食食していても血圧は徐々に低下して正常値になっている。BD114/84mmHg、体温 36.7℃。やはり、日本人である。梅干し万歳。午後、李先生が来られて、来週の火曜日午前中に退院と決まる。術後 11 日目、入院して 12 日目である。その後、少し硬めの便が中等度出たのでやれやれである。但し、靴を履いて歩いても、左の第 1 指 MP 関節部が痛むので、ロキソニンテープを貼る。両側のふくらはぎも痛むので、就寝前に、ロキソニン 60mgl 錠と胃薬をお願いして服用する。足指の MP 関節痛、発赤、腫脹が見られたので、痛風を疑ったが、入院時の血液データを見ると、尿酸値は 5.3mg/dL と正常値であるので、やはり、歩行時かなりの衝撃を足底に与えたことによるようだ。

6 月 30 日（日）曇り時々雨。降圧薬服用前、BD139/74mmHg、体温 36.6℃。早朝の採血あり。洗濯場まで恐る恐る歩いたが、足の痛みはかなり引いていた。やれやれである。建物の外に散歩に出て、途中雨に降られる。病室に帰る途中、トイレに寄って本日 2 回目の便を出す。快調である。帰室すると、日曜日ではあるが、胸腹部単純 X 線撮影の案内があり、これが最後の検査と思われる。

7 月 1 日（月）曇り時々雨。いつの間にか梅雨入りだそうだ。明日の午前中に退院予定である。早朝、BD 117/78mmHg、体温 36.4℃。午前中に、自主トレで院内廊下と階段昇降行う。午後に、リハビリ士が来られ最後のトレーニング。800m ほどの歩きと階段昇降を行ったが、トレーニング前後でも血圧は 120/75mmHg で殆んど変わらずであった。夜、ブロチゾラム 0.25mg 1 錠を服用する。

7月 2 日（火）曇り時々雨。退院日。BD142/86mmHg、体温 36.6℃。早朝にリハビリ科の佐浦教授と主治医の李先生の訪問を受けたので、今回大変世話になった礼を言う。退院の準備をしているところへ内山教授の回診があり、今回、胃食道グループの先生方には大変お世話になったことのお礼を再度述べた。内山教授は、昭和 58 年本学卒で、和歌山医大で肝臓外科を専門にされておられ、私より 18 年後輩で私の助教授時代の教え子だそうだ。

退院 1 ヶ月後

8月1日（木）晴れ時々曇り。今年最高の猛暑日。手術で摘出した噴門部の胃と食道部の連続切片の病理診断結果がいよいよ言い渡される日である。結果は、「切除された、胃・食道を全割し検索しましたが、癌の遺残は見られませんでした」であった。また、郭清したリンパ節 20 個（# l,2,3a4sa,4sb,7,9,19,20,110）は、何れも脂肪組織のみでがん細胞は無かった。これで、今回の、バレット食道腺癌の治療は終了で、後は、5 年間のフォローのみとなった。現在、塩分摂取に気を使っているので、BD は、130 ～ 140/80 ～ 90mmHg で収まっており、体重は、内視鏡術後で 5Kg、外科手術後で 2Kg で、バレット食道腺癌治療前に比べ、計7Kg 痩せたことになる。

エピローグ

今年 3 月15日に四条烏丸で開業している岩野先生にバレット食道腺癌を発見して頂き、母校の消化器内科に入院して ESD を受け、その摘出した病理標本の結果により消化器外科で追加手術を受け治療が完了するまで、約三ヶ月のスピードで終わることができたのは、母校ならではの連携の良さと感謝している。この間、消化器内科の樋口教授、主治医の小嶋先生、消化器

内視鏡センター長の竹内先生を始め消化器内科の多くの先生に厄介になり、また、75 病棟の看護師様には一週間の短期ではありましたが大変世話になった。また、手術棟に移ってからは、麻酔科の南教授による全身麻酔と硬膜外麻酔の併用による疼痛コントロール、消化器外科を統率する内山教授のもと、李先生率いる本田、今井、園村、田中（亮）、桶本の胃食道グループの先生方には私のわがままを快く聞き入れて下さり大変世話になり感謝している。また、リハビリに何かと気をつけて度々病棟を訪れて下さった佐浦教授や PT の方、C5 病棟で厄介になった看護師の皆様にも感謝の意を表し筆 を置きます。

令和元年 8 月 1 日

仁泉会ニュース

通巻 **50** 号記念

原稿・写真大募集！

会員の皆さまの投稿からなる仁泉会ニュースも、今年で通巻 50 年を迎えました。
そこで、改めて会員の皆さまからの寄稿を募集いたします。
時代を知ることができるようなお写真などもございましたら、ぜひお送りください。
お待ちしております。

仁泉ひろば
jinsen-park

幻奇会（げんきかい） 報告

文責／小嶋昭次郎（学 29 期）

約 10 年ぶりに「幻奇会」の集まりが東京にて、9 月 15、16 日の一泊二日で行われました。この会は、昭和 55 年卒の同級生のうち、学生時代 4 年生頃に勉強会グループを作り、6 年生には国家試験対策勉強会となり、無事全員合格した者の集まりです。卒業後は、それぞれの進路へと別れましたが、定期的に会う約束をして、「幻奇会（幻の奇人の会）」と名付けました。何回か回を重ねるにつれ子供たちの参加も増えにぎわしくなっていきましたが、昨今は子供たちも大きくなり参加しなくなり、また、学年同窓会（学 29：庚申仁久会）も数年おきに開かれるようになったため、この会は久しぶりの開催となりました。幹事は堀野俊男君で参加者は、中張隆司・裕子（旧姓：下鳥）夫妻、藤原正隆・祥子（旧姓：小林）夫妻、本田　学君と奥様（多嘉子さん）と小嶋昭次郎・範子（旧姓：田中）の 9 名でした。

初日は歌舞伎座で午前の部を観劇、幕間で吉兆の松花堂弁当を頂きました。歌舞伎終了後、近くのホテルにチェックインし、一旦休憩の後、ロビーに集合し築地の寿司屋さん「江戸時代」へと向かい、美味しい夕食を堪能しました。食事中の話題は、子供や孫の話や自分自身の健康状態などが中心で、時の流れを感じざるを得ませんでした。

翌日はスカイ・ツリーへ昇りましたが、あいにくの悪天候で雲の合間からほんの少し下界が見える残念な状況でした。スカイレストラン「634 むさし」で昼食をとり（藤原夫妻はプラネタリウムに行き参加できず）、その後、東京ソラマチで藤原夫妻と落ち合い、次回は本田君が幹事になることを確認して解散となりました。

次はどこで、どんな企画が用意されるのか楽しみです。そして、全員が「元気かい！」と集まれることを願っています。

仁泉ひろば

jinsen-park

第13回 大阪医科大学バレーボール部 OB 会（六友会）報告

文責／保田 浩（学 31 期）

バレーボール部 OB 会を令和元年 9 月 7 日にリッツカールトン大阪にて開催いたしました。今回の OB 会では、長年部長をしていただいていた病院長の内山和久部長から小児科学教授の芦田 明部長に交代いたしました。内山部長には恒常的な部員不足の中、廃部の危機を何度も助けてもらいました。OB 会の理事長は引き続き豊田勝弘先生にしていただいております。

バレーボール部の歴史は昭和21年に大阪医大予科と兵庫県立医大予科（神戸大学）の定期戦より始まります。当時の主将は故西村忠文教授でした。西村教授はバレー部の創設に尽力され、また昭和45年から平成7年まで長く部長をしておられました。OB 会は平成7年に西村教授退任に際し「西村忠文教授を送る会」をバレーボール部 OB 主催で開催したことより会の結成が始まりました。その後、総会・懇親会を 2 年ごとに開催し今回13 回目となりました。この間に会誌も 9 冊発刊しております。

さて、男子バレーボール部の戦績ですが、黄金時代は昭和28 年からです。この時の西医体の参加チームは 24 校で 9 人制でした。この 4 年間の成績は、3 位、準優勝、準優勝、4 位でした。昭和 35 年、昭和 40 年と準優勝をしております。その後はベスト 4 が何回かありますが、最近の戦績はかんばしくありません。女子バレーボール部は平成10年に創部されました。チームとして試合ができるようになったのはそれから数年後です。西医体出場は平成15 年からで、ベスト 4 が一度ありました。

現役部員が少ない中、OB会がしっかりとバックアップして黄金時代が再来することを願っております。今回も多くの OB の先生方に集まってもらいました。この原稿を読んで、更にたくさんの OB の先生方に参加願えればと思っております。

参加者（敬称略）
後藤研三（学 21 期）松本正明（学 25 期）
豊田勝弘（学 28 期）保田 浩（学 31 期）
内山和久（学 32 期）田中雅也（学 32 期）
金子卓嗣（学 35 期）芦田 明（学 37 期）
西尾公利（学 43 期）島川修一（学 44 期）
市岡従道（学 45 期）坂 良逸（学 45 期）
天野良亮（学 46 期）朝隈光弘（学 47 期）
大槻周平（学 47 期）北原直人（学 47 期）
池田直廉（学 49 期）　綾仁悠介（学 60 期）
東堂まりえ（学 63 期）東 隼也（学 66 期）
桶本 大（学 67 期）齋藤敦徳（学 67 期）
木下絢奨（学 68 期）清原卓也（学 68 期）
堀口晃平（学 68 期）計 25 名

会員追悼

亡き辰巳敞朗君、加藤一博君に捧げる

文責／川上勝朗（高医 18 期）

仁泉会ニュース、50巻5号、令和元年9月1日。にて、学部9 期 辰巳敞朗君、学部 12 期 加藤一博君のご逝去を知った。私、川上勝朗（高医 18 期）は大正 15 年生、〔1926 年1月31日生〕 94 歳、令和なる平成なる時代まで生き伸びたが、戦友に先立たれた思いである。

私が母校、大阪高医を卒業したのは、昭和24年だった。小児科に在籍し、助教授だった。恩師・巽 稔教授が胃ガンで逝去された。後任の教授選考で教授会は私、川上を推薦して頂いた。しかし、京大出身の松本学長は、それをさし戻し、京大出身の某氏を後任教授に指名した。

それは遥かなる昔になったが昭和30年（1955）だった。私は初めて高医出身の臨床系教授となる筈であった。

その抗議は全学紛争となった。当時、全学連の紛争が巻き起こっていたが、それとは無関係のコップの中の嵐に過ぎないが、私たちにとっては重大問題であった。

当時、私はウイルス病、各種ワクチンを研究対象としていた。辰巳敞朗、加藤一博、その他、15 名の諸君が私の研究室に所属し、診療と研究に精励されていた。

私は助教授の分際で、医大医師会長に選任された。当時の保険医総辞退など日本医師会の運動に関わったのである。大阪医大当局の望まぬ事態である。

辰巳敞朗、加藤一博、その他の諸君は、言わば、戦友であった。ここはお国を何百里、離れて遠き満洲の赤い夕陽に照らされて、友は此処に眠れるか。昔の軍歌である。今は亡き森繁久弥が涙を浮かべて歌ったシーンを思い出す。過ぎ去りし昔は茫々として再び帰らず、自分の未来は過去にしか無い年齢とはなった。

しかしながら、共に戦った友を忘れはしない。

辰巳敞朗君、加藤一博君、安らかに眠りたまえ。

事業報告 学生生活虎の巻 その七

若手の先生と学生の交流の場が設けられました！

編集部がレポート！

2019 年9 月28 日（土）学生生活虎の巻が開催されました。学生の実行委員会が企画をし、仁泉会と大学が共催するこのイベントも今回で 7 回目。今回は趣向を変え、学生の皆さんが参加しやすいように土曜日の夕方に開催致しました。

今回のプレゼンターは 3 名の先生方。それぞれの活動してきたことや現在の立場を踏まえて、「今、後輩たちに伝えたいこと」や「これからの学生生活に必要なこと」をそれぞれ話していただきました。

令和元年 11 月 1 日発行　大阪医科大学仁泉会ニュース　第 50 巻 第 6 号

プレゼンター
荘子万能先生　会社経営

荘子万能先生（左）と山川拓也さん（3 回生）

「医者」と「医師」の違いは何だろう

2018 年卒業なので研修医 2 年目ということになるんですが、実は 8 月末で研修医を退職しまして、自分が作った会社に専念することを決めました。だからといって医者を辞めたわけではないと思っています。ということで、医者って何でしょうかという話をしたいと思います。僕の中ではまだ答えは見つかっていないのですが、例えば、病院で働く先生が医者であるのと同じくらい、研究に専念されている先生も医者だと思います。医師かどうかは、免許を持っているかどうかですが、医者かどうかは各々の価値観に依るのではないでしょうか。

先日、厚生労働省の医系技官の先生と僕のネットラジオ番組で お話する機会があったのですが、やはりその方も「自分は、（国が患者で、厚労省が臨床の場である）医者だと思っている」と仰っていました。6 月に「僕たちが医者になる前に」という本を出版したのですが、そういうタイトルにしたのは、まさにそういう医者かどうかは自分が決める、ということを医学生や高校生の皆さんに知ってもらいたかったからです。僕は医師免許を持っているので「医師」にはなったけど「医者」にはまだなれていないとも思っています。自分にとっての「患者」って誰なんだろう、自分にとっての「臨床」とは何をすることなんだろうということを今も悩み続けています。

そして 8 月末に病院を辞めたわけですが、この 1 ケ月ほどで、どんどん考え方が経営者のものに変わっていくのを感じています。会社にしっかり向き合うと、経営は子育てに似ているとわかりました。自分の中から出てきたもので、最初は手をかけないと死んでしまう、でも自分だけでは大きくできない、いろんな人たちの協力があって大きくなって、最後はおそらく自分の手から離れていく、という点で似ているかもしれません。メンバーにも本当に恵まれました。医療関係の事業を開発していくのって、普通の人ならめちゃくちゃハードル高いはずなんですよ。でも僕の場合は、医師免許を持って事業開発をすることになるので、結構価値があると思っています。

自分の中に「哲学」を持ってほしい

今日は皆さんに持って帰ってもらいたいことが 2 つありまして、ひとつは自分にとっての「医者」って何だろうということに興味を持ってもらいたいですね。もうひとつは、自分の中にしっかりと「哲学」を持ってほしいということです。何気なく生活していたとしても「なぜ自分はここにいるんだろう、何のために生きているんだろう」というようなことを考えていただきたいと思います。

「か」から「と」へ

ちなみに僕の哲学は「か」から「と」へ行こう、ということです。例えば、僕は京都で生まれましたが、両親は台湾出身です。それで、自分は日本人なのか台湾人なのか、という「か」で悩んできました。最近は、台湾でも仕事をするようになって、台湾人であり日本人である、「と」の価値に気づくことができました。この、「か」から「と」は、いろんなところで生かせると思います。例えば皆さんなら、ポリクリに行ったときに「自分は医者側なのか患者側なのか」って考える瞬間があるはずです。でも医者と患者の両方の視点を持ちうると思えたとき、医学生であることの価値を感じることができると思います。最後に、人間生きているといろんな「もやもや」があると思うのですが、これってすごく大事なことだと思います。「もやもや」は、解消するためにあるわけではないということに気づきました。いろんな「もやもや」と向き合う中でに自分の中で考えが深まっていくからです。みなさんの人生が素晴らしい「もやもや」と共にありますように！

プレゼンター
神吉佐智子先生
大阪医大心臓血管外科勤務

神吉佐智子先生（左）と岡崎早也圭さん（3 回生）

唯一無二の存在になるために

学生のときはバドミントン部の他に東洋医学研究会にも所属していまして、その好きが高じて、昨年漢方専門医の資格を取りました。大阪医大では心臓血管外科で働いています。他にも患者さんが院内で転倒してケガをしないように転落事故防止実行委員会の委員長をしたり、女性医師支援センターや、臨床研修運営委員会であったり、教員評価委員会であったりなど、いろんなところからお声がけいただくのですが、ほとんど断らずにやっています。これらを引き受けることで、いろんな側面から物事を知ることができるので、そこに価値があるのだと思っています。先ほどの荘子さんのお話にも近いですが、自分が唯一無二の存在になることを目標にしています。もちろん、それは大阪医大がより良くなって欲しいと思っているためですし、何より患者さんの役に立てると信じて行動しているつもりです。

「プロ」であるということ

いろんな方向性で自分のやりたいことを突き詰めても怒られないというのが医者という職業だと思います。長年医者をしていると、私にしか診れないという患者さんも出てきますし、そういう医者になりたいと思っていました。なので私のキーワードは「プロフェッショナル」であるということです。アメリカに出ていっても世界に出ていっても、私はこれのプロなんですということが言えるようになりたい。それは医療じゃなくても構わないのですが。やはり世界に出ていって、グローバルな人間という立場になったときに、どこに所属している私なのかではなく、これをしている私であると言えることが大事なので、「何者」かにならないといけない。それが「プロ」であることだと思います。だから私がプロなのかというとまだまだで、患者さんから教わることも多いし、まだまだ分かっていないことも多いです。

オススメの留学時期は

話を少し前の時代に戻しますが、私は 2007 年にボストンに留学しました。留学経験がある方も多いでしょうが、私はまず大学に入って、大学院に行って博士号を取って、助教（准）として心臓外科で働いてからの留学でした。専門医資格や診療経験ができてからなのですごく面白くて楽しかったんですよ。皆さんにもお勧めしたいと思います。ハーバード大学医学部の中のブリガム・ウイメンズ病院というところに入ったのですが、こちらの循環器内科がとても有名で、私の中では 1、2 を争うくらいの病院です。その中で、心臓血管系の研究をしている研究室に入って、ひたすら研究をしていましたね。世界中の同世代の仲間と一緒に研究できるという環境もとても良かったです。

今はとにかく勉強すること

最近分かったことがあって、病気の原因を見つけてくるのは意外と研修医の人が多いんですね。ベテランの先生が見落としていたようなことを、皆さんのような若い人が見つけてくる。今までもそうであったように、これからの医療には皆さんのように新しい知識を学んだ先生方の力が必要だということです。まずは、国家試験に合格して医師免許を取る。そこからでしか始まりませんので、いろいろ思うこともあるでしょうが、まずは一生懸命勉強してください。また、大阪医大のホームページに「研究最前線」というページがありまして、そこに私も寄稿させてもらっていますが、授業だけじゃなくいろんなところから知識を吸収してください。今回の虎の巻のようにいろんな人の話を聞くのも大切なことですね。

令和２年度仁泉会学術集会助成申請について

令和２年度中に会員が主催する全国規模の学会への助成申請を下記にて募集致します。
希望される先生におかれましては、期日内に申請書を仁泉会事務局にご提出いただきますようお願い申し上げます。
申請書は、仁泉会事務局までご依頼いただくか、仁泉会ホームページの「申請書ダウンロード」より入手頂けます。

申込受付期間：2019 年 12 月 1 日～2020 年 1 月 31 日

仁泉会事務局
jimu@jinsenkai.net
tel:072-682-6166,fax:072-682-6636

仁泉会ホームページ　仁泉会　検索

冊子切抜

痛みの悩み相談室

監修／井尻慎一郎先生

井尻整形外科院長。医学博士。著書・監修書に『痛いところから分かる　骨・関節・神経の逆引診断事典』（創元社）、『筋肉のからくり　動かし方を変えるだけでコリと激痛が消える！』（宝島社）などがあるほか、論文、講演、テレビ出演などで活躍中。井尻整形外科HPはhttps://ijiri.jp

ケガをしたら、冷やす？　温める？

冷やす・温めるは、どう使い分ければよいのでしょうか。ズバリ、ケガをしたときは「最初は冷やし、その後は適当な時期から温める」のが正しい対処法です。

例えば、太ももを打撲したときに内出血した箇所を温めると血行がよくなり、さらに内出血が進んで腫れが増してしまいます。ケガの直後は痛めた箇所を冷やし、血管を縮小して内出血を減らし、腫れを抑えましょう。冷やすことによって痛みの感覚を麻痺させる効果もあります。

しかし、低温にしすぎると凍傷になってしまう恐れもあるので、冷やすときはビニール袋に氷水を入れたくらいの温度が最適です。また、長時間冷やし続けると組織の血行が悪くなり、酸素や栄養が足りなくなってしまうので、ケガの状態にもよりますが、冷やす時間は数十分から1、2時間程度にしておきましょう。間欠的に冷やすのもよいでしょう。

内出血は打撲してから1～2日で止まり、腫れがピークに達するので、それ以降は逆に温めて血行をよくし、組織の活性と再生を促します。血行は、組織に酸素や栄養を補給し、老廃物を捨てる上でも大切です。

冷やす時間、温める時間はケガの状況や部位によって異なりますが、入浴時に患部を温めた際にズキズキ痛むときは、まだ急性期なので冷やさないといけません。逆に患部が気持ちよければ急性期をすぎているので、温めていい頃合いです。

2019 年 8 月 8 日号

痛みの悩み相談室

監修／井尻真一朗先生

井尻整形外科院長。医学博士。著書・監修書に『痛いところから分かる　骨・関節・神経の逆引診断事典』（創元社）、『筋肉のからくり　動かし方を変えるだけでコリと激痛が消える！』（宝島社）などがあるほか、論文、講演、テレビ出演などで活躍中。井尻整形外科HPはhttps://ijiri.jp

神経痛の原因は何？

神経痛にはさまざまな原因があります。一般的には「炎症やケガや圧迫や血行障害が原因の場合」「神経そのものが傷んでしまって痛みが生じる神経障害性といわれる場合」「原因不明の場合」の3つに分類できます。ヘルニアによる「根性坐骨神経痛」やヘルペスウイルスによる「帯状疱疹後神経痛」のように原因がはっきりしている場合もあれば、まったく分からないこともあります。

神経痛は、まず原因を取り除くことが大事です。そして、初期は炎症性と考えられ、治療薬はロキソニンやボルタレンといった非ステロイド性消炎鎮痛薬が用いられます。しかし、神経痛の診断と治療はこの10年で劇的に変わり、これらの鎮痛薬では痛みが取れない場合があることが分かってきました。先ほど説明したように神経そのものが傷ついてしまったり、変性してしまい、痛みが続くこともあるので、今は痛みの種類を見極め、それぞれに適した治療や薬剤を組み合わせて処方しています。

現在は、神経障害性の痛みには専門的な効果がある「リリカ」や「タリージェ」という薬や抗うつ薬などが選ばれるようになっています。原因不明の神経痛には温めたりビタミンB12を服用したり、適度な体操などを行います。

このように、神経痛には3つの種類とさまざまな薬剤や治療法があります。医師から対処法をよく聞き、自分に適した治療を心がけましょう。

2019 年 8 月 22 日号

★★★週刊実話に井尻慎一郎先生（学 31 期）の記事が 連載されています。★★★

冊子切抜

痛みの悩み相談室

布団よりベッドが腰にやさしい

監修／井尻慎一郎先生

井尻整形外科院長。医学博士。著書・監修書に『痛いところから分かる　骨・関節・神経の逆引診断事典』（創元社）、『筋肉のからくり　動かし方を変えるだけでコリと激痛が消える！』（宝島社）などがあるほか、論文、講演、テレビ出演などで活躍中。井尻整形外科HPはhttps://ijiri.jp

畳は日本の大切な伝統文化の1つですが、腰痛持ちだと、床から寝起きするときにベッドより上下の動きが大きく、腰に負荷がかかります。布団の上げ下げも大変です。床から30～50㎝の位置にあるベッドから寝起きしたほうが動きは少なく、腰の負担は軽くなります。和室でもベッドは置けます。畳の上で寝起きしている腰痛持ちの方は、購入を検討するとよいでしょう。

最近は布団や寝具にこだわる方も増えていますが、何が腰痛に効果的なのかは一概に言えません。布団やマットの適切な柔らかさや材質は、腰痛の状態や年齢によって異なります。一般的には、上向きで寝るときに重い尻が沈み込むと腰が反ってしまい、腰痛が生じやすくなるので、硬い布団やマットが推奨されています。ただし、この通説も状況によります。

そのため、私は「寝返りしやすい寝具」を勧めています。人間は動かずに寝ていると筋肉や関節がこわばるので寝返りを打ち、自然に体をほぐしています。寝返りは、じつはとても大切な運動なのです。朝、起きがけに腰やひざが痛む方がいますが、これは夜間に筋肉や関節が硬くなり、そこから急に体を動かすことで起きるものです。腰痛に悩まされている方は、寝ていても自然に寝返りが打ちやすい寝具を選びましょう。

上向きにまっすぐ脚を伸ばして寝ると腰に負担がかかるので、腰痛のある方は、左右に、横向きに寝るのがお勧めです。

2019 年 8 月 29 日号

痛みの悩み相談室

肩こりの原因は、筋肉の疲れ

監修／井尻慎一郎先生

井尻整形外科院長。医学博士。著書・監修書に『痛いところから分かる　骨・関節・神経の逆引診断事典』（創元社）、『筋肉のからくり　動かし方を変えるだけでコリと激痛が消える！』（宝島社）などがあるほか、論文、講演、テレビ出演などで活躍中。井尻整形外科HPはhttps://ijiri.jp

家事やデスクワークなどで同じ姿勢を長時間とっていると、重い腕と頭を支える筋肉（僧帽筋、肩甲挙筋、大・小菱形筋、脊柱起立筋、頭半棘筋、胸鎖乳突筋など）が疲れてきます。また、長時間同じ姿勢をとっていると血行が悪くなっていきますが、これによってグリコーゲン（糖）をエネルギーとする筋肉に老廃物（乳酸）もたまっていきます。その結果、首や肩に張りや重だるさ、軽い痛みなどを感じるようになりますが、これが「肩こり」です。

肩こりを治すには、筋肉を使いすぎないことが重要です。長時間同じ姿勢をとったり、同じ動作を繰り返したりしすぎないようにしましょう。適度に休憩をとったり、首や肩を軽く動かしたりといった軽い運動をすると、筋肉がほぐれて再び元気になります。ひじかけで腕の重さを支える、湯船にゆっくり浸かるのも肩こりの予防に有効です。

後に説明する重大な病気が原因でないときは、「単なる疲れ」との意識改革が大切です。カナダ人の友人に肩こりのことを聞くと「ナンセンス」と笑い飛ばされました。

肩こりは単なる筋肉の疲労だけでなく、ほかに重大な病気が潜んでいる可能性があります。首を動かしたときに手にしびれが広がる、また、痛みがなかなか消えないときは、頚椎性の神経障害や内臓の病気の疑いがあるので、肩こりが続くときは整形外科や内科の診察を受けるようにしてください。

2019 年 9 月 5 日号

★★★週刊実話に井尻慎一郎先生（学 31 期）の記事が 連載されています。★★★

エッセイ

歴史を彩った女性達（19）

西村　保（学 4 期）

楠本イネ

楠本イネはシーボルトと妓楼の女性であった其扇（そのぎーお滝ー）との間に長崎の出島で生まれた。楠本は母の生家の姓である。

シーボルトはドイツ人の医師で、江戸末期に来日し、長崎の出島で診療を行った。それが評判となり「鳴滝塾」を開設し、多くの、所謂蘭方医（主に外科）を育成した。その後シーボルトは帰国する際に、幼児であったイネの養育を多くの門弟の中で最も信頼できた二宮敬作に託した。二宮敬作は当時、宇和島藩医になっていたのでイネは宇和島で育った。

成長したイネは敬作からシーボルト直伝の医学、主に外科を習得したが、イネは当時のわが国では出産を不浄なものとする風習に疑問を持ち、産科医を目指した。そして産科医である岡山の石井宗謙に師事して産科医となり、上京して東京築地一番地で産科を開業したが、蘭方女医の産科医として有名となり、宮内省御用掛にもなった。その後明治 7 年に、時の明治政府は医術開業試験を公布した。この試験に合格しないと開業できなくなり、しかも当初は男子のみに限られたのでイネは止むなく医院を閉じた。

幕末から明治にかけての波乱の時代に、混血児という不遇を乗り越えて女医を志し、父シーボルトの名に恥じないように誠実に生き抜いた一生であった。

荻野吟子

荻野吟子は嘉永 4 年（1851 年）、現在の埼玉県熊谷市で庄屋を務める荻野綾三郎の娘として生まれた。16 才になった吟子は親同士の話し合いで結婚したが、婚家先の夫が道楽者だったので悪性の淋病を感染させられ、その痛みと排膿に苦しめられ、止むなく上京して順天堂医院に入院したが、当時は当然ながら治療に当たった医師はすべて男性ばかりであり、治療とは云いながら吟子は下半身を晒す屈辱に身を縮めた。それで吟子は女には女でと女医になる事を決意した。

婚家先と離縁した吟子は改めて上京し、当時では唯一の私立医学校であった好寿院に入学した。そして様々な困難に耐え抜き、明治 12 年に修了したが、当時は医師の資格を得るには国の医術開業試験に合格しなければならなかったが、受験資格は男性のみに限られていたので吟子は足踏み状態になったが、やっと明治 17 年になって女性も受験できるようになり、吟子は前期と後期にわたる試験を優秀な成績で合格した。女性としては第 1 号であった。この時吟子は既に 34 才になっていた。そして下谷の西黒門町で開業したが、当時の新聞や雑誌は「女医第一号」としてもてはやしたので一躍時の人となって多くの患者が集った。このまま行けばメデタシメデタシであったが、吟子が 40 才になった時、熱烈な恋をして 14 才年下でクリスチャンの志方之善と結婚した。そして志方の北海道を開拓し、キリスト教を伝道しようとする熱意にほだされ、吟子はすべてを整理して一緒に北海道に渡った。しかし開拓は困難を極め、過労のため志方は病死してしまったので吟子は止むなく再び東京に戻ったが、その時吟子は既に 58 才になっていた。当時では晩年であったが本所小梅町で開業した。しかし 20 年のブランクは大きく、かつての名声は完全に忘れられ女医学校を卒業した女医が増えていた事もあって患者は稀にしか訪れず淋しい晩年を過ごした。

このように吟子の人生は、一時期には脚光を浴びたものの、苦難の連続であったと云える。

吉岡弥生

吉岡弥生は明治 4 年に現在の静岡県掛川市で漢方医の鷲山養斎の長女として生まれた。18 才になった時、医師を志して上京し、当時としては唯一の私立医学校であった済生学舎に入学した。そこを卒業して医師開業試験にも合格したが、更に医学の勉強をするために東京至誠学院に入ってドイツ語を学んだ。そこで学院長の吉岡荒太から求愛され、明治 28 年に結婚した。そして至誠学院の一室で東京女医学校を設立した。これが後に東京女子医学専門学校、さらに現在の東京女子医科大学になったのである。

こうして弥生は長年にわたって校長や学長を務めて約7,000人の女医を養成したと云われている。そして昭和39年に88才で亡くなったが遺言により献体された。

このように弥生の人生は女医の育成と多くの女性団体の長として女性の社会的地位の向上に尽力した一生であった。

まんが　第 40 回 スペシャル・拡大版

古い歌 3

京都ぽん太町（学 31 期）

立ち止まる二人には
交す言葉も
なくて

ひまわりの小径

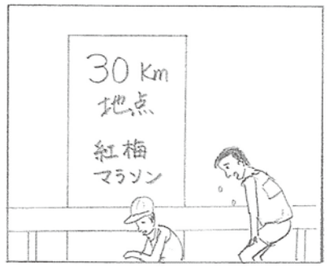
一緒に出ようねって
言ったのに
いつも私が
待たされた

神田川

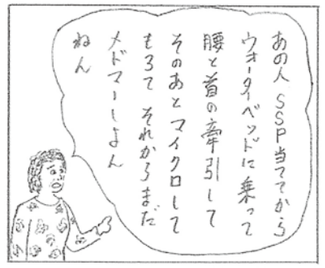
時代おくれの
男に
なりたい

時代おくれ

チェリッシュ



かぐや姫



河島英五

もうすぐ私きっと
あなたを
振り向かせる

まちぶせ

涙で 文字が
にじんでいたなら
わかって下さい

わかって下さい

昔の名前で
出ています

昔の名前で出ています

石川ひとみ

因幡 晃

小林 旭

ツムラの運動会

居合道

本部だより

会員訃報

次の会員が亡くなられました。
慎んでご冥福をお祈り致します。

事務局編集係

高医 15 期　中尾忠民先生
令和元年7月20日心筋梗塞の為ご逝去(95歳)。
昭和20年卒。
昭和29年より大阪市東住吉区にて内科を開業され、平成24年に閉院なさるまでの約60年間地域医療の為に尽くされました。仁泉会評議員として会務運営にもご協力いただきました。
ご遺族　長男　和民様

高医 16 期　土山良造先生
平成31年1月27日老衰の為ご逝去（96歳）。
昭和22年卒。
26歳で京都宇治市にて小児科をご開業になり75歳で引退閉院されるまでのながきに亘り地域医療に貢献されました。
ご遺族　妻　總子様

学部 4 期　上田五郎先生
令和元年8月22日急性肺炎の為ご逝去(90歳)。
昭和30年卒。
昭和20年4月1日美保航空隊（特攻）に入隊、同8月に除隊されました。卒業後は母校第2内科に入局され、昭和36年に学位を取得されました。昭和38年から42年までの南大阪病院でのご勤務を経て、昭和42年 9 月大阪市住吉区にて内科をご開業になり52年間地域医療の為に尽力されました。
ご遺族　妻　淳子様

学部 6 期　佐野康雄先生
令和元年 7 月13日腎不全の為ご逝去（87歳）。
昭和32年卒。
堺山口病院にて外科医としてご勤務になりました。特別養護老人ホーム高石では院長をお務めになり、地域医療に貢献されました。
ご遺族　妻　千鶴子様

学部 8 期　近藤香織先生
令和元年 9 月11日肺炎の為ご逝去（85歳）。
昭和34年卒。
摂津市にて近藤診療所（内科、リウマチ科、小児科、整形外科）を開設され、地域医療に尽力なさっておられました。
ご遺族　長男　桂一様

学部 11 期　定延和夫先生
令和元年 8 月 6 日ヘルペス脳炎の為ご逝去(84歳)。昭和37年卒。
卒業後、母校泌尿器科に入局されました。昭和49年に堺市にて皮膚科、泌尿器科をご開業になり、平成28年 10 月に閉院されるまで地域医療の為に尽くされました。仁泉会堺市支部長、大阪府支部連合会理事として会務運営にもご協力いただきました。
ご遺族　妻　京子様

学部 18 期　岡田克彦先生
平成24年12月14日脳梗塞の為ご逝去(67歳)。
昭和44年卒。
尼崎市にて内科をご開業になり、地域医療に携わっておられました。
ご遺族　長男　英志様

編集後記

今年は、東日本で豪雨による被害がでています。犠牲になった方々や被害に遭われた皆様に心よりお悔やみ、お見舞い申し上げます。思えば昨年は西日本で地震、台風被害があり未だに傷が癒えていないところも見受けられます。温暖化の影響でしょうか、天災の規模が年々大きくなっている感じがいたします。

さて、８ページに掲載の奈良県支部会の記事中、大阪薬科大学との合併のことや、同会に薬科大学 OB の方もご参加いただいたことがでています。現在、すでに学校法人としては一緒になっているのですが、再来年春、大学自体が合併する予定になっています。存続大学は本学で、薬科大学を吸収する形になるのですが、先方のほうが歴史のある姉さん女房になるのでしょうか。また、母校では 2025年１月に病院新本館竣工。100周年をむかえる2027年には新講義棟完成を目指しています。大阪薬科大学との合併や、すでに稼働しているBNCT 共同医療センターをはじめ、三島南病院、健康科学クリニックなどとともに、医療系総合大学としてますます発展してゆくことを楽しみにしております。

（治）

編集部より

会費納入のお願い

年会費
令和元年度　10,000円
平成30年度　10,000円
平成29年度　10,000円
納入のご協力をよろしくお願い致します。

原稿募集のお知らせ

仁泉会ニュースの原稿を募集しております。
●51 巻１号（令和２年１月１日発行）
　締切　令和元年 11 月末日
●51 巻２号（令和２年３月１日発行）
　締切　令和２年１月末日
●送付先：仁泉会事務局　〒569-8686　高槻市大学町2-7
E-mail：jimu@jinsenkai.net　　FAX：072-682-6636

ハードルをジャンプ!!

地元で 50年

薬袋・診察券・カルテなどの
医療印刷

タツミ印刷株式会社
お気軽にご相談下さい。
池田・高槻
tel: 072-761-8434

開業支援ドットコム

開業をお考えの先生方是非ご相談ください！

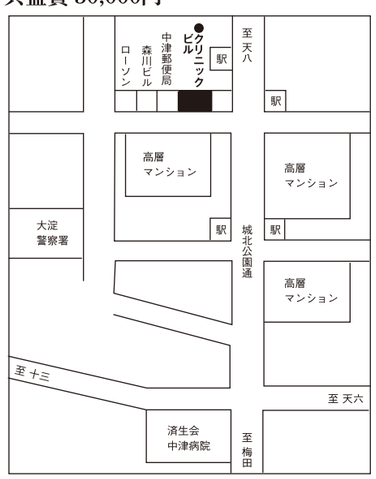
★ご開業場所の選定・調査　**内装・空調等のご相談も承ります。**
★ご開業時の税理士等のご紹介（弁護士・社労士・司法書士 etc）
　ご開業融資のご相談も承ります。各行政への対応可能な有資格者もご紹介
★ご開業後の経営・運営のご相談
★医療機器・材料等のメーカーとの交渉
　医業優先の煩わしい交渉事を一手に引き受けます。

◆ご開業時・ご開業後の様々なご相談事に親切・丁寧にご対応致します。
◆ご開業をお考えなら下記まで一度ご相談下さい。

お問い合わせ先
開業支援ドットコム株式会社　担当：宮﨑　090-2705-9997

医療ビル テナント募集

◆ 場所　大阪市北区中津1丁目11-6
◆ 坪単価 15,000円(相談)　◆保証金（相談）
◆ 共益費 30,000円



クリニックビルのテナントを募集いたします

★整形外科・耳鼻科・泌尿器科・美容整形皮膚科・小児科
★３Ｆエリア【90 坪】
◆内装美装（自由に改装可）
3F　直通エレベーター有
1F　ガレージ有
1F　内科盛業中

★地下鉄中津駅前 好立地条件一等地
★地下鉄中津駅すぐ人口密

開業をお考えの先生方、
お気軽にお問い合わせ下さい。

詳しくはお電話にて。
お問い合わせ先
仁泉会事務局 ☎072-682-6166
小山 ☎090-1480-5866